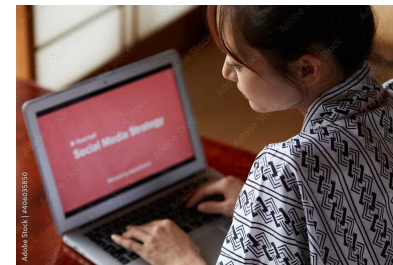


伊豆ヘルスケア温泉イノベーション(ICOI)プロジェクト

温泉地の強みを生かしたヘルスケアワーケーション

宿泊施設等向け導入マニュアル



jeki 株式会社ジェイアル東日本企画

2024年2月29日

本資料について	P.3
■市場環境	
・ワーケーションとは	P.4
■地域特性	
・伊豆半島の特性とヘルスケアワーケーション	P.5
・ワーケーション×温泉入浴で取り入れられる健康メソッド	P.7
・ヘルスケアワーケーションの展開イメージ	P.8
■実施事例	
・部門合宿型の実施事例	P.10
・チームビルディング型の実施事例	P.11
・ブレジャー型の実施事例	P.12
■自社への取り入れ方	
・企業ニーズと販売時の訴求ポイント	P.14
・ヘルスケア面の付加価値① - 温泉入浴と運動によるリフレッシュ	P.15
・ヘルスケア面の付加価値② - スマートミールの提供	P.16
・ヘルスケア面の付加価値③ - フィットネスプログラムの提供	P.17
・受け入れ施設に求められる要素・訴求ポイント	P.18
・販売アプローチ-自社販売	P.19
・販売アプローチ-パートナー販売	P.20
・販売価格に関する参考事例	P.21
・顧客ニーズ・参考データ	P.22

本資料について

伊豆ヘルスケア温泉イノベーション(ICOI)プロジェクトとは

全国有数の温泉数・源泉数を誇る静岡県。
その源泉の9割以上が分布する伊豆地域を舞台として、
新たなヘルスケア産業・温泉研究拠点の創出に取り組むプロジェクトです。

静岡県

宿泊施設数

1位

温泉源泉数

3位

(令和4年3月末現在)

<出典・参考>
令和3年度温泉利用状況(環境庁)より

ICOIプロジェクト、ワーケーション分野の実証事業として

「企業向けのヘルスケアワーケーション※」のビジネスモデル化を実証

※令和4・5年度に、温泉入浴やスマートミール、フィットネスなどのヘルスケアプログラムを組み合わせたワーケーションを実施。

令和4年度 実証事業



企業向けのヘルスケア ワーケーションモニター実施

健康効果の実証
利用者ニーズの把握



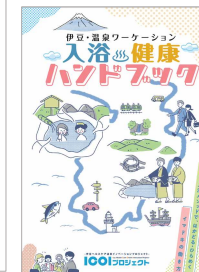
首都圏等の企業をモニターとして、
ヘルスケアワーケーションの健康効果の
医科学的な検証と利用者ニーズを抽出。

令和5年度 実証事業



企業向けヘルスケア ワーケーションの実証販売

市場性の把握
顧客ニーズの把握



前年度把握した
健康効果・需要を基に、
実際の販売商品として、
BIGLOBE ONSEN
WORKにてプラン販売。

温泉・食・環境など、伊豆地域の優れた健康促進効果を活かした
上記の「ヘルスケアワーケーション」によって、**企業ニーズを開拓する新たなビジネスモデルを創出**

温泉を活用した宿泊施設等での新規顧客開拓の一案として活用できる、
『企業向けヘルスケアワーケーション』のビジネスノウハウを取りまとめ、本マニュアルを策定いたしました。

ワーケーションとは、「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、**観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方**を意味します。

<期待される効果>

①社員のエンゲージメント向上

温泉の入浴効果とリフレッシュ効果、そして滞在中のコミュニケーションが、社員のモチベーションや会社へのロイヤルティ向上させます。



②組織活性化・チームビルディング

メンバーと一緒に温泉に入ったり、食事を楽しむなどの同じ体験によって、コミュニケーションが活性化し、長期に渡る良好な関係性が構築されます。



③発想の転換やアイデア創出

非日常的なくつろぎ環境によって柔軟な発想と集中力が生まれ、議論や研修の効果をより一層高めることができます。



<市場の動向>

●生活様式の変化

コロナ禍での「新しい働き方」の定着



在宅勤務



リモートワーク

ワーケーションへの心理的ハードルが下がり、一気に普及が進む社会的な土壌が形成。

●ワーケーションの市場成長予測



首都圏における法人団体予約の市場規模

推定250億円

以下係数よりフェルミ推測
国内宿泊市場 約2兆円(出典:JNTO)、訪日外国人の宿泊日数割合 約20%(出典:観光庁)
訪日外国人の宿泊費は日本人の1.5倍(筆者推定)、法人団体割合 5.1%(出典:日本交通公社)、首都圏の人口比率 35%

上記のように、ワーケーションは「旅」「観光」「温泉」と特に相性が良く、**企業等のニーズをくみ取って展開**することで、**新たなビジネスチャンスの創出**につながります。

伊豆地域ならではの長所である「温泉」「ヘルスケア」をワーケーションに組み合わせることによって、他エリアはもちろん、他のワーケーション商材との明確な差別化・付加価値となり得ます。

<伊豆半島ならではのメリット>

①立地・条件の強み



- 都内から、最短60分程度という好立地
- 日本のほぼ中央に位置するため、全国どこからでも不便なく利用が可能
- 競合が想定される箱根エリアよりも、料金帯が比較的リーズナブル

②豊富な源泉と宿泊施設数



- 豊富な温泉地と宿泊先の中から希望するワーケーションのスタイルに最適な施設を選ぶことができる
<宿泊施設数:第1位・源泉数:第3位>
- 会議・温泉・宴会などの様々な体験を、同一施設内で実施することができる

③都心にはない、多彩な魅力



- 冬でも燦々と太陽が注ぐ穏やかな気候
- 多くの人々に「伊豆=温暖」という好イメージが定着・浸透している
- 美しい海・山などの四季の景観、温泉や旬の味わいなどの多彩な魅力、さらには幅広いアクティビティも充実

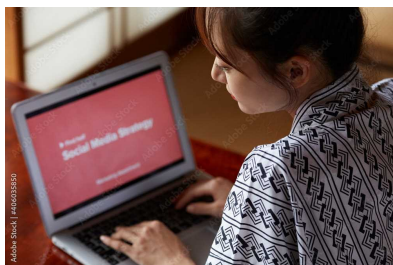
<温泉地でのワーケーションがもたらす、3つの効果>

①優れた入浴効果



古くからの「湯治」でも良く知られるように、温泉への入浴によって、疲労回復や血管年齢の若返り、ストレスの低減など、心と身の双方に健康的な効果がもたらされます。

②オフィスを離れる転地効果



日常のオフィスや研修施設から離れ、非日常的な空間に身を置くことで心身がリフレッシュされ、発想の転換や柔軟なアイデアの創出が促されます。

③コミュニケーション効果



旅先の宴会場で一緒に食事を楽しんだり、温泉につかりながらの語らいを堪能するなど、心がくつろぐ場所での共通体験や交流が、組織やチームの結束力をアップします。

<過去実証事業で検証した健康効果>

「令和4年度ICOIプロジェクト実証事業(ワーケーション分野)」では、2泊3日のヘルスケアワーケーションにおいて、以下の要素に滞在前後での有意な改善が見られました。

伊豆地域の温泉地滞在に、
『フィットネスプログラム(朝時間帯のヨガ・サイクリング・ビーチウォークのいずれか)』
『栄養バランスに配慮したスマートミールランチ』
『入浴法の指導』を組み合わせた2泊3日のヘルスケアワーケーション



<健康関連自己評価(VAS評価)>

リラックス・リフレッシュ・健康状態・肌のしっとり感・肌のさっぱり感・疲れ・肩こりや腰痛・目の疲れ などへの効果

環境の変化や温泉入浴のリラクゼーション効果で、温泉成分による疼痛軽減等が症状の改善に寄与した可能性があります。

<気分・精神状態(POMS)>

一時的な気分・怒り・敵意・抑鬱・落ち込み・疲労・無気力・緊張・不安・活気・活力 などへの効果

温泉地の好環境や転地効果に加えて、同僚等とのコミュニケーションが気分や精神状態に良い影響を与えた可能性が示唆されました。

<運動機能・柔軟性>

最大2歩幅の伸長効果

「温泉入浴(40℃程度)」の温熱作用には、コラーゲンを柔軟化し、関節の可動域を拡大する効果があることが知られており、これが運動機能の改善につながったことが推定されます。

<血圧>

収縮期・拡張期血圧の低減効果

適切な入浴法による入浴や運動などの影響と推測。日常的な「温浴習慣」の継続が、動脈硬化を遅延させ、身体の状態を日々フレッシュにさせるなど、その後の健康状態の維持にも寄与すると考えられます。

<健康関連自己評価(VAS評価)>

睡眠の質や手足の冷えの改善、幸福感の獲得 などの効果

適度な運動や温泉への入浴によって、上記のさまざまな効果が得られた可能性が推測できます。

<消化器系症状評価(GSRS)>

痛み、酸逆流、消化不良、便秘、下痢 などの改善効果

「バランスと栄養に配慮したランチボックス」の摂取に加え、提供時に行った解説が滞在中の食行動にも好影響を及ぼしたことで、消化器症状の改善に寄与した可能性が示唆されました。

共同実施機関:一般財団法人 日本健康開発財団

※1 2022年10月に熱海・伊豆長岡・下田の温泉宿で「TRY ONSEN WORK プログラム in 静岡県」を実施し、参加者23名の効果測定とアンケートを実施。

※2 一般財団法人 日本健康開発財団による効果測定の結果、ワーケーション開始時と終了時で統計的に有意な差(p<0.05)が見られました。

伊豆半島のワーケーション・ヘルスケアにおけるこうした特徴・期待できる効果を、「ヘルスケアワーケーションプラン」として具体的に構成した事例をご紹介します。

<本プロジェクトにて制作した伊豆・温泉ワーケーション「入浴・健康ハンドブック」より>

温泉のベネフィット

シャワーでは効果なし!? 温泉入浴のベネフィット

温泉には、主に4つの健康へのベネフィットがあります。シャワーでは得られないものですから、滞在中は、ぜひこまめに温泉に浸ってください。(慣れるまでは1日3回までが目安です。)

4つのベネフィット

- 1 温熱作用**
酸素・栄養を「びゅー」と送り、二酸化炭素・老廃物を「しゃー」と洗い流す
- 2 静水圧**
「泉の心臓」ふくらはぎをサポーして「むくみ解消」
- 3 浮力**
重力から解放。ふかりと浮かべば「リラククス」
- 4 抵抗性・粘性**
水中で手足を動かせば無理なく適度な「運動効果」

温泉地のウェルネス・アクティビティを活用しよう!

温泉地の魅力は、お風呂ばかりではありません。自然豊かな伊豆エリアは、「温」に加え、「動」「休」「食」「笑」といったウェルネス要素も豊富に活用されています。「温泉に浸かる」だけでなく、滞在中ぜひお楽しみください。

- 温** 温泉で心も体もあたまる体温アップで全身免疫強化!
- 動** 周辺散策でリフレッシュ!適度な運動で代謝アップを!
- 休** ぐっすりな眠りもお約束!温泉後のエステは効果倍増!
- 食** バランスとバラエティに自信!温環境は感染防御の源!
- 笑** 家族や仲間と楽しく過ごす!笑顔は免疫バランスの源!

入浴前後には水分補給を!

温泉入浴では、私たちのカラダから水分と電解質が失われます。入浴前・入浴後には脱水・熱中症を防ぐため、少なくともコップ1杯の水分を補給しましょう。電解質を補給するスポーツドリンクもおすすめです。

はかどる・ひらめく

大原則!頭に酸素を送り込もう!

温泉入浴の最大の利点のひとつは、頭への酸素の供給。頭脳の栄養は酸素です。温泉に入ると、「びゅあああ」と全身に酸素が送り込まれます。老廃物を洗い流してリフレッシュしましょう。これはシャワーでは得られないメリットです。滞在中は温泉に入っただけでも脳をチャージしましょう!

仕事のはかどる・ひらめくのきっかけに。温度によって自律神経の作用を使い分け!

はかどる スイッチONの鉄板「熱い湯」
シャワーの仕事をはじめたいそんなあなたに役立つのは「熱い湯(42℃程度)」。「熱い湯」は、リフレッシュをもたらす「交感神経」を刺激して、あなたの脳細胞に働きかけ、30分ほどでよいので、「熱い湯」が脳のワークをぜひお試しください。

ひらめく 煮詰まった時にぬるい湯!カプを入れるなら熱い湯!
「ひらめく」の瞬間は、脳内には、スイッチONに繋がって、アイデアが湧き出ている。心身をリラックスさせる「副交感神経」を刺激してください。逆に「カプ」を入れてリセットしない場合は、先に「熱い湯」を入れて、その後ぬるい湯にスイッチONして使ってください。

「はかどる」のスイッチONは、スイッチONに繋がって、アイデアが湧き出ている。心身をリラックスさせる「副交感神経」を刺激してください。逆に「カプ」を入れてリセットしない場合は、先に「熱い湯」を入れて、その後ぬるい湯にスイッチONして使ってください。

酸素が活きの原点

入浴時 酸素濃度UP
二酸化炭素濃度DOWN
老廃物を洗い流し、リフレッシュ

入浴の自律神経への影響

42℃以上の熱い湯	38~40℃のぬるい湯
交感神経を刺激	副交感神経を刺激
体が興奮状態	体がリラックス
促進: 心拍数、血圧、発汗、収縮	抑制: 心拍数、血圧、発汗、収縮
抑制: 心拍数、血圧、発汗、収縮	促進: 心拍数、血圧、発汗、収縮

筋肉リズムをリセットする飛脚刺激

私たちの体内リズムには昼夜下部にある時計遺伝子が大きく関与しています。時計遺伝子は光刺激を受けるとリセットされます。朝日浴浴びる早起ウォーキングや露天風呂での顔湯などがおすすめです!

くつろぐ・ゆるめる

「オフ」を最大化するお風呂メソッド

温泉地で仕事をしたあとは、デスクワークでこぼれた身体を「ゆるめる」心身をリトリート。オフに切り替えてゆっく「くつろぎ」しましょう。

浮かぶにつれて、ぬるめのお湯でゆったりゆるめる。温泉の浮力は、心身のリラクゼーションをもたらします。最後まで全身浴で重力は10分の1に。くつろぎと睡眠をとりたい場合は、就寝1時間前を目安に、ぬるめのお湯をえらびましょう。

ぶかーんーと浮かんでいんです!
温泉のふくらみまわりに、ゆらゆら浮かんでみましょう。ゆったり深呼吸で、ほぐれていくような感覚をお楽しみください。

心身をゆるめる。むくみ・腰痛・肩こりを撃退!

長時間のアスタークで足のむくみが気になる方にも「温泉浴」は効果的。全方位からかかる「静水圧」が下肢にたまった水分を押し戻してくれます。

たのしみ・つながる

開放的な環境で、本音のコミュニケーションを!

新型コロナウイルス感染症の流行後、テレワークが加速的に普及し、仕事仲間とのコミュニケーションが希薄と感じる人が増えています。開放的な温泉地で共に働き、楽しむことで、チームのコミュニケーションを円滑にすることも期待できますよ。

マッサージでむくみ解消をサポート
足先から体の中央に向かって、やさしくさすっていきましょう!
ふくらはぎのマッサージも、むくみ解消に効果的です。

温泉効果はカラダ全体をリラックス

「温泉効果」をもたらすミネラルの浸透は関節の可動域を広げてくれるので、湯中・浴後のストレッチが腰痛・肩こりの軽減に効果的に役立ちます。

簡単ストレッチで、お手軽マッサージ

「どうやるの?」「どこまで?」
長い時間の温泉で、足先から体の中央に向かって、やさしくさすっていきましょう。足先は30秒、上体を前に倒すときに効果的。

「お風呂でストレッチ」
湯中・浴後のストレッチは、関節の可動域を広げてくれるので、湯中・浴後のストレッチが腰痛・肩こりの軽減に効果的に役立ちます。

たのしみ・つながる

開放的な環境で、本音のコミュニケーションを!

新型コロナウイルス感染症の流行後、テレワークが加速的に普及し、仕事仲間とのコミュニケーションが希薄と感じる人が増えています。開放的な温泉地で共に働き、楽しむことで、チームのコミュニケーションを円滑にすることも期待できますよ。

普段と異なる環境が刺激に! たのしみ! 転地効果もたらすベネフィット

オフィスやWEBでの会議・業務と比べ、伊豆の温泉地での会議・ワークタイムは、様々な刺激を受け、新しいアイデアや深いディスカッションにつながるという報告が少なくありません。隣の良いカフェ・テラスや、足湯に浸かるとの打ち合わせも好評です。

つながる! チームの一体感を築くために

チームビルディング・ウェルビーイングにも有効活用!

普段の仕事でしか接点のない同僚たちと、仕事のリフレッシュ・アクティビティなどを共に通じて、ほぐし、時間を共有しましょう。温泉地の散策や、サイクリング・フィットネスなどは、お互いの心理的距離を縮めてくれるはずです。

飲酒後の入浴は危険! ゆいびきのため!

飲酒後の入浴は血圧低下や脱水、浮腫みなど、非常に危険です。入浴は飲酒後から3時間以上経過してから行ってください。

伊豆地域の特性である『温泉・ヘルスケア』を企業・ビジネスニーズの高い『温泉地滞在・会議室等を使ったチームビルディング・ワーケーション』と組み合わせることで、より付加価値を持ったプランの造成が実現できます。他エリアや他のワーケーション商材との差別化・付加価値となります。

コンテンツや連携先を整備し多様なワーケーションニーズに適したヘルスケア・ビジネスのプログラムを用意

①フィットネスプログラム

地域性を活かした
適度なフィットネスで、
業務効率UP



②スマートミール

健康的な食事で心身ともに
健康的な食生活のきっかけを



③ビジネス研修プログラム (チームビルディング・地域交流・SDGs等)

企業ニーズの高い、ビジネス面で
プラスとなる滞在価値を提案



+

各プランのベースとなる 温泉ヘルスケア×ワーケーション

温泉宿滞在 (ワーク環境あり)



非日常環境での滞在で、業務効率UPや
アイデア創出・健康面のリフレッシュに効果的

会議室



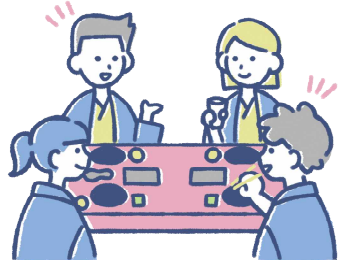
集中した業務やチーム内の密度の高い
コミュニケーション

温泉の健康効果や 入浴法の指導



滞在中に温泉入浴・ストレッチ等を取り入れることで、
リフレッシュや集中力UP・ひらめき等に有用

⇒P.7:本事業で取りまとめた
「入浴・健康ハンドブック」をご活用ください。



ヘルスケアワーケーションの実施事例

NECソリューションイノベータ株式会社様 38名

目的: ●メンバーの一体感の醸成と組織の未来の議論
●お客様先に常駐しているメンバーが多いことから、プロジェクトを横断して、スタッフが顔を合わせる機会をつくる。

<実施概要> 下記2チームにより、場所を分けて実施

チームA:越後湯沢温泉 あてま高原リゾート ベルナティオ

平日1泊2日 1名1室×6室、3~4名1室×4室

チェックイン前からチェックアウト後まで会議室利用

チームB:箱根湯本温泉 天成園

平日1泊2日 1名1室×9室、2名1室×5室

チェックイン前からチェックアウト後まで会議室利用

<参加者の声>

- ・周囲に助けを求めることができる環境を作れました。
- ・周りのメンバーを知ることで、相談相手を見つけました。
- ・定期的に実施することで、強いチームワークが作れそうだと感じました。
- ・宴会場も周囲と話しやすい配置であり、また施設がきれいで、普段とは違う特別感がありました。(天成園)
- ・3~4名1室のお部屋のレイアウトが半個室状態で驚きました。芝生で寝っ転がって見た星空がきれいで、流れ星まで見えました。

(あてま高原リゾート ベルナティオ)



チームAの集合写真



プロジェクターとホワイトボードを使ったディスカッション

株式会社 日立製作所様 6名

目的: ●成長戦略や組織の将来像など中期計画の検討。

効果: ●柔軟な思考や発想が生まれ有益な意見交換ができた。
●コミュニケーションが減少する中でも、組織の活性化に有効。

<実施概要>

宿泊先 :伊東温泉 ラフォーレ倶楽部 伊東温泉 湯の庭

宿泊条件:平日1泊2日、1名1室(露天風呂付客室)×6室

チェックイン前からチェックアウト後まで会議室利用

<参加者の声>

- ・在宅ワークが増えて離れていた時間が長かったのですが、その距離を一気に縮めることができ、集中してディスカッションが行えました。
- ・温泉地という非日常の中で対面での議論はオンライン会議のときよりも発言が活発になり、相互理解が進みました。
- ・同じホテルでほかの企業が合宿を実施している様子が見えました。
同様の効果を求める企業はこれからも増えていくのではないのでしょうか。



プロジェクターとホワイトボードを使っての討議



1名1室利用で露天風呂付き客室に宿泊してリフレッシュ

古河ネットワークソリューション株式会社様 16名

- 日程: ●1日目 10~18時 戦略検討会議
●2日目 10~18時 戦略検討会議、社長へのプレゼン
●3日目 ゴルフ、ハイキング

<実施概要>

宿泊先 : 箱根湯本温泉 天成園

宿泊条件: 平日2泊3日(木~土曜日)、1名1室×16室

チェックイン前から会議室利用

<参加者の声>

- ・オフィスでの普段の会議よりも参加者が積極的になって発言ができたため、充実した時間を過ごすことができました。
- ・社員のモチベーションを上げるという点でとてもよいものだと実感しました。
- ・すべての行程をホテルで完結するのはとても便利だと思いますが、オンオフを切り替えるという意味でも昼間はコワーキングスペースでワークを行い、夜はホテルで温泉を堪能するといったプランがあるとありがたいなと感じました



プロジェクターとディスプレイを使っでの討議



最終日のハイキングでリフレッシュ

自社への取り入れ方

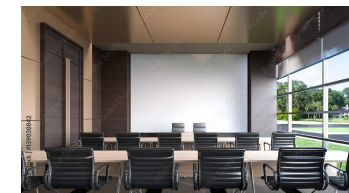
ヘルスケアワーケーションプランの販売・ビジネス機会の創出ため、
 まずは**企業のニーズと訴求すべき伊豆地域の環境・ヘルスケア面での優位性**を基に、
 プラン造成の基本的な特徴(求められている点・魅力的に見える点)を把握しましょう。

<ワーケーションにおける企業ニーズ>

主目的	業種	宿泊条件	重要な要素
<ul style="list-style-type: none"> ● 幹部合宿 ● 部門合宿 ● チームビルディング 	<ul style="list-style-type: none"> ● IT関連 ● 各種メーカー ● コンサル ● 人材派遣 ● 金融 <p>など多種多様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 泊数: 1泊2日…約8割が希望 ● 部屋: 1名1室…約7割が希望 ● 人数: 3名~70名まで多様 <p>※7~9名前後が中央値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動時間 ● 予算 ● 部屋割(1名1室) ● 会議室の有無



2023年4月~2023年12月のBIGLOBE ONSEN WORKによる伊豆地域への販売実績より

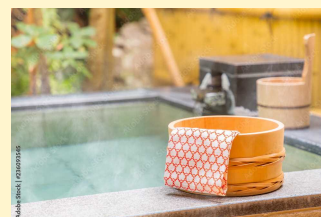


<伊豆地域のならではの強み・訴求ポイント>

海あり・山あり・食あり・アクティビティあり
短時間のわずかな移動で、都心とガラッと変わる環境

- 都内からのアクセスが、最短1時間程度の好立地
- 競争になりがちな箱根エリアに比較して、リーズナブル
- 冬でも温暖なイメージが浸透
- 都心の宿泊施設と比較すると、会議だけではなく温泉、宴会までが同一施設にて実施可能

ヘルスケア面での優位性



温泉入浴による
リフレッシュ



健康的な食事
(スマートミール)



フィットネス体験で
気分転換・健康増進

⇒企業の健康経営や社員のリフレッシュ、モチベーションUPに貢献します

伊豆地域でのワーケーション・宿泊の一番の特徴となるのが、温泉です。

企業サイドで明確に意識はされていませんが、温泉入浴やストレッチなどにより、気分転換や集中力の向上などの効果が期待できます。そのリフレッシュ効果によって期待できる、ひらめき(アイデア創出)や業務効率の向上が、伊豆地域でのワーケーションの大きな訴求ポイントです。

<本プロジェクトにて制作した伊豆・温泉ワーケーション「入浴・健康ハンドブック」より>

温泉のベネフィット

シャワーでは効果なし!? 温泉入浴のベネフィット

温泉には、主に4つの健康へのベネフィットがあります。

シャワーでは得られないものですから、滞在中は、ぜひこまめに温泉に浸かってください。(慣れるまでは1日3回までが目安です。)

今日は3回目!!

4つのベネフィット

- 1 温熱作用**
酸素・栄養を「びやー」と送り、二酸化炭素・老廃物を「しゃしゃー」と洗い流す
- 2 静水圧**
「第2の心臓」ふくらはぎをサポートして「むくみ解消」
- 3 浮力**
重力から解放、ぶかりと浮かべば「リラックス」
- 4 抵抗性・粘性**
水中で手足を動かせば無理なく適度な「運動効果」

03

自宅でも続けよう! お風呂の健康習慣

自宅に帰ってからも役立つ「お風呂」レシピ集。ぜひ続けてみてください。

代謝改善!
湯船に浸かる日を増やしましょう!
湯船に浸れば、全身に酸素がいき渡ります。カラダをフレッシュな状態に戻す日を増やしましょう!

はかどる!
スイッチをオンの鉄板! 熱い湯!
シャキッと仕事を始めたいなら「熱い湯(42°C程度)」です。時間がない朝は、シャワーでもOK。

ひらめく!
煮詰まった時にぬるい湯! カンを入れるなら熱い湯!
アイデアに煮詰まってイライラする...なら「ぬるい湯(38-40°C程度)」でリラックス! リセットしたい場合は「熱い湯(42°C程度)」でリフレッシュ!

浮かでくつろぐ。
ぬるめのお湯でぐっすり眠る。
全身浴での重力からの解放は、心身のリラクゼーションをもたらします! ぐっすりと睡眠をとりたい場合は、就寝1時間前を目安に、「ぬるめ」のお湯をえらびましょう!

心身をゆるめる。
むくみ・肩こり・肩こりを撃退!
むくみには全身浴を。足先から体の中心へさすってみる、ふくらはぎのマッサージも役立ちます! 腰痛・肩こりには、浴中・浴後のストレッチが効果的です!

伊豆ヘルスケア推進イノベーションプロジェクト
ICOIプロジェクト

効率的なランチタイムの実現を基本に、さらに「ヘルスケア」をアピールしましょう。

限られた滞在期間内に、会議やワークを集中的に実施するお客様が大半となりますので、お弁当の手配などによってランチを効率的に提供できることが理想的です。

また健康に配慮したスマートミール対応のお弁当などを準備できれば、より強いアピール要素となります。

<スマートミール対応のお弁当提供例>

2023年10月 ITコンサル企業のチームビルディング合宿(18名参加、熱海温泉)

健康的な食事に魅力を感じスマートミール対応のお弁当を18名中16名が選択。

エスニック系のスマートミール対応のお弁当であったため、エスニックが苦手な2名は通常のお弁当を選択。

<スマートミール対応のお弁当とは>

一般社団法人健康な食事・食環境コンソーシアムが認証する「健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた食事」のことを指します。

<https://smartmeal.jp/smartmealkijun.html>

2023年度ICOIプロジェクトでは、桃中軒様(本社:沼津市)が「しずおか健康生活応援弁当」として製造しているスマートミール弁当を提供しています。



http://www.tochuken.co.jp/images/k3_2.pdf

こうした健康的な食事を取り入れることによって、
『参加社員の健康増進に配慮した滞在プラン』などの訴求戦略も可能になります。

フィットネスプログラムの提供により、健康効果を高めるとともに、参加者の満足度も向上します。

滞在期間の健康効果・リフレッシュ感・満足度の向上を期待できるプログラムとして、**ヨガやサイクリング・トレッキングなどのフィットネスが有効**です。なかでも汎用性が高いものが、天候に関係なく実施できる「ヨガ」です。起床後や、仕事の合間のリフレッシュとして取り入れていただくことで、**仕事のひらめきや業務効率向上のきっかけ**になります。会議室利用などの「**お薦めプラン**」として提供すれば、**企業の購入ハードルも下がる**と同時に、参加者の満足度向上をも期待できます。

▶販売プラン例

【お薦め】会議室リフレッシュプラン 13万円

ベーシックプランにヨガインストラクターによるヨガ体験(45分)
朝食前の軽いストレッチで頭もリフレッシュして会議の質を向上

会議室ベーシックプラン 10万円

プロジェクト、ホワイトボード、ポット珈琲、お菓子付き

<ヨガプログラムの実施例>

2024年1月 IT企業の役員合宿(11名参加、伊東温泉)にて
ヨガインストラクターが体のお困りことを当日ヒアリング。

参加者の年齢層が高く、ヨガ未経験者が多かったことから、初心者向きで肩こりに効果的なプログラムを実施しました。

<ONSEN WORKでの販売実績>

チェックアウトが土日祝の場合には、ゴルフや登山などレジャーの希望が一部ありますが、自らヘルスケアプログラムを求めるケースは極めて少ないのが現状です。(約300社中2社)
その一方で、2022年度に無償のヘルスケアプログラムに参加されたお客様からは、「頭をリフレッシュできた」「初めてヨガを体験したが気持ちいい」などの高評価を得ています。

これらを踏まえると、宿泊施設側から『希望者だけに体験を提供できるプラン』が提案できれば、それは十分にワーケーション先の選定における**ストロングポイント**になり得るでしょう。
天候によって実施の有無が左右されると企業側も受け入れにくく、また冬季は敬遠されがちですので、ワーケーションのオプションメニューとしては、会議室などの室内空間を会場として低コストで参加できるヨガプログラムが最適だと考えられます。



<お客様への訴求アプローチの一例>

▶朝食前の軽いストレッチ体験で、温泉の健康効果を高め、頭をすっきりリフレッシュします。
会議や研修によりポジティブに取り組むためにも、ぜひ「ヨガ・プラン(仮)」をご活用ください。

地域によりますが、伊豆半島内にはヨガの他にも、サイクリングやビーチウォーキング等、多彩なフィットネス体験を提供している事業者や講師が存在します。

ワーケーションの手配においては、**下記の施設スペック・対応要望が企業ニーズ**としてよく見受けられます。対応できる範囲が大きいことで**企業側から選ばれやすい宿泊施設**となりますので、ぜひご参考にしてください。

ハード面(設備)

会議室の有無

- **ほぼ100%のお客様が会議室を利用**されます。

会議室の環境

- 宿泊施設に会議室がない場合は、占有可能な近隣のコワーキングスペースや公共会議室を手配できるようにしておきましょう。
例) 三菱地所の「WORKationSite」(熱海市、下田市)など
- **チェックイン前に会議室の利用を希望されるお客様が多い**ため、予め受け入れを想定しておくことをお勧めします。
- 会議室からの眺望の良さ(海、山)がある施設の場合は、非日常空間での会議としての強いアピールポイントになります。

会議室の付帯設備

- **【最重要】プロジェクター、ホワイトボード、延長ケーブル 【重要】リモート会議用のマイクスピーカー**
【必須ではない】液晶ディスプレイ
- **設備の不足分はレンタルサービスの活用**を。
宿泊施設側でレンタル手配が可能だと、旅行会社からより歓迎されます。

マイクスピーカー例
YAMAHA YVC-331



Wi-Fiの有無

- 会議参加者全員が利用することを想定し、**会議室の定員の2倍程度が同時接続が可能なWi-Fi機器**になっていることが理想的です。
(家庭用Wi-Fiを利用している場合は要注意です)

リフレッシュメント

- 必須ではありませんが、会議中のおやつやドリンクなどを提供できると効果的です。
- 会議室料金にリフレッシュメント費用を含むプランを用意しておく、企業側も利用しやすく、また満足度も高まります。

ハード面(客室)

机椅子

- 会議室利用がメインとなるため、客室における机椅子は必須ではありません。

ソフト面

支払い

- チェックアウト後に、**請求書払いを希望**される法人が大半です。

送迎

- 午前中に宿泊施設に到着される場合が大半のため、駅近隣の宿泊施設以外では、一般のお客様と異なる時間帯での送迎を求められることが多くなります。**(参加者は、ある程度通常の勤務時間に合わせて移動するため)**
- お客様側でのタクシー経費精算は敬遠されることがあるため、上記の送迎に対応できない場合は、宿泊施設側でタクシーなどの手配を行い、料金を会議室費用にアドオンできると成約率が高まります。

宴会

- 個室、飲み放題を希望するお客様が一定数いらっしゃいますが、対応は必須ではありません。

自社でのヘルスケアワーケーションの販売アプローチとしては、
「WEBサイトの法人向けのページ設置・拡充」「館内・客室告知(個人宿泊客への法人での再訪想起)」などが有効です。

WEBサイト

法人向けページの設置、もしくは拡充

<記載内容例>

- ワーケーション・会議室パッケージプランの提示
- ワーケーション・会議室の利用条件、利用料、付帯設備(プロジェクタ、ホワイトボード)、コーヒーやお菓子などのリフレッシュメントの有無
- 会議室からの眺望が良ければ、その写真を多めに掲載
会議室がない場合は周辺の会議室のあるコワーキングスペースの手配代行の有無なども
- 昼食対応(館内、弁当手配など)
- 宴会の個室対応の有無、飲み放題の有無
- 送迎サービス(チェックイン前、チェックイン後の対応の可否)
- 請求書払いが可能なのであれば、アピールポイントのために要記載
- 会議室を含めた仮予約の可否、仮予約期限など
- 法人利用できる場合の諸条件があれば、それも記載(最低人数など)



WEB広告

費用対効果が見込みにくいことから、
あまりお勧めはしません。

ワーケーション利用者の場合、「熱海 合宿 宿」などと宿を指定しない検索を行うケースが多いため、獲得のために高額なコストを必要とするのに比して、その投資に見合う獲得件数が期待しにくいというのが現状です。

館内・客室告知

個人宿泊客への法人アプローチ

法人利用の場合は部署単位での実施がメインのため、
部課長クラスでの決裁となるケースが多くなります。
本資料の要素をコンパクトにまとめ、客室に設置している案内資料への追加や、パンフレット、館内ポスターなどで告知する他、その時の利用状況によっては会議室の見学などが可能ことも添えておくことより親切です。

再訪促進の施策

リピーターはあまり多くないですが、
社内別部署等へ広めていただける可能性はあり。

宿泊したお客様が、宿泊施設を再指名されるケースはあまり多くありません。
宿泊者が満足したとしても、様々な宿を体験したいと考えることがその要因と思われます。
ただし、お客様が「滞在に満足した」旨の評判を社内の別部署に広めていただける可能性もありますので、その確率を高めるためのアフタフォローは有意義です。

<施策例>

- 幹事様へのお礼と名刺交換
(可能なら女将、支配人クラスの責任者が望ましい)
- メールによるお礼と、可能であれば招待特典
※招待特典については、経費による支払いのため、値引きではなく、食事のアップグレードやお土産付きなど
宿泊者に直接還元できるものがお勧めです。
- 半年後などにふたたびメールでアプローチ
※営業メールを嫌うお客様もいるため、メール配信停止のリンク
もしくは「今後のメールが不要の場合は「不要」と返信すればお送りしません。」
などの記載を添えておく配慮も必要です。



旅行代理店等からの問合せを増やすためには、web上にワーケーションに必要となる**施設の詳細**や、ヘルスケアなど**付加価値サービスの対応状況を詳細に紹介することが有効**です。

パートナー販売、他宿紹介による問い合わせ率の向上

パートナー販売

手配代行・旅行代理店等が、お客様からの要望に対して候補となる宿泊施設を選定する際には、**過去に実績のある宿泊施設**や、必要となる**設備の状況などが把握できている施設**から空室確認を行うケースが多くなります。このため、**web上にワーケーションに必要となる会議室の有無や、Wi-Fi速度などの設備状況、ヘルスケアなどの付加価値サービスの対応状況を詳細に紹介しておくことが大きなポイント**となります。

その他 アプローチ先

アプローチ先として、合宿施設などを手配できるサービスも有効です。こうしたサービスは**情報を提供している施設数も限られているため、高い成約率を見込むことができます**。

会場ベストサーチ	https://kaijosearch.com/	プロジェクターを使える施設のみを掲載しています。(静岡県の掲載施設 18宿)
CO-miT	https://co-mit.jp/	研修など人材育成の専門家が監修しています。(静岡県の掲載施設 14件)
コワーケーション.com	https://co-workation.com/	宿泊施設と研修やアクティビティを組み合わせで提案しています。(施設は未掲載)
ONSEN WORK	https://workation.biglobe.ne.jp/onsen/	温泉地での合宿研修に特化して紹介しています。(静岡県の掲載施設 18宿)

他宿紹介による問い合わせ率の向上

旅行会社からの空席確認の際に**自社に空室がない場合は、条件を満たしている他の施設を紹介してあげることも効果的**です。「XX宿泊施設に相談すると、空室がなくとも他の施設を紹介してもらえる可能性がある」と、旅行会社に対して問い合わせの手間が減るというメリットを提供することによって、**問い合わせ率そのものを稼げる可能性**が大きくなります。

実証事業での実績を基に、ヘルスケアワークショップの販売金額を例示いたします。
販売時の利益想定や企業への提案時の金額感の参考となりますと幸いです。

1名1室 1泊2日2食付 10名滞在の手配金額例

手配項目	金額目安
宿泊費 10名 @3.3万円	330,000円
会議室 ※プロジェクター・コーヒー・茶菓子付き ※チェックイン前からチェックアウト後の2日間利用	100,000円
ヨガプログラム(講師手配)	35,000円
スマートミール 昼食弁当 10名 @600円	6,000円
小計	471,000円
企画手配手数料(20%) ※プランニング・スケジュール等のの企画者様へのお手伝い必要	94,200円
合計	565,200円 (税別)

※金額は参考例となります。 ※宿泊費や宿・シーズンごとに異なります。
 ※ヨガ・スマートミール・会議室等の手配料は一例となり、こちらの金額での手配を保証できるものではありません。

利用者アンケートのデータより顧客ニーズの参考となるデータを公開いたします。

実施の目的

コミュニケーション活性化	25%
チームビルディング	21%
集中検討	19%
アイデア創出	8%
心身リフレッシュ	8%
人材交流	8%
社員結束	5%
その他	6%

満足度

大変満足	62%
満足	32%
普通	6%

温泉地でのワーケーション・合宿の再利用

是非利用したい	45%
機会があれば利用したい	55%

温泉地でのワーケーションを再利用したいと思った理由

体験効果

- ・定期的に利用することで高い効果が得られると感じた。
- ・心身のリフレッシュになったため。
- ・参加者が、温泉につかって、リフレッシュできたので、満足してもらえた。

幹事の手間の削減

- ・幹事の手間が省けて非常に助かったため。
- ・急な手配依頼にも関わらず、会議室まで含めて宿泊先と調整し確保いただけて大変ありがたかったため。

宿泊施設での改善点

設備面

- ・会議室のWi-Fi接続が悪かった点は残念でした。
- ・全館共通のWi-Fiが時おり不安定となり、オンライン参加者とのディスカッションに影響が出てしまった
- ・OAタップが少なくて足らなかった。

サービス面

- ・朝食会場が大混雑して、その結果、時間がなく食べられなかった方がいた。
- ・送迎バスがあるので、昼も運用してほしい。

上記のデータはビッグローブ株式会社が「ONSEN WORK」にて受注した企業者のアンケートからの抜粋です。
※伊豆地域以外での参加者アンケートも含まれます。